

日本航空宇宙学会オンラインジャーナル Aerospace Technology Japan

APISAT-2016 特集号 投稿規定

平成 28 年 9 月 23 日 日本航空宇宙学会理事会 承認

1. 日本航空宇宙学会 (JSASS) 論文集編集委員会は、航空宇宙工学に関するアジア－太平洋国際シンポジウム 2016 (The 2016 Asia-Pacific International Symposium on Aerospace Technology (APISAT-2016)) 日本組織委員会 (以下 APISAT 委員会と略記) と共同して英文オンラインジャーナル「Transactions of JSASS, Aerospace Technology Japan」の APISAT-2016 特集号 (以下 APISAT 特集号と略記) を査読論文集として刊行する。APISAT 特集号には以下の副タイトルをつける。

“APISAT-2016 Special Issue: Selected papers from the 2016 Asia-Pacific International Symposium on Aerospace Technology”

2. APISAT-2016 において前刷り論文を発表し、かつそれを APISAT-2016 特集号に投稿することを希望する著者は、2016 年 10 月 17 日までに、APISAT 委員会宛の E メールにて投稿の意思を明示する必要がある。

3. JSASS 論文集編集委員会は、APISAT-2016 において発表された論文のうち、著者が APISAT-2016 特集号への投稿を希望し、かつ、司会者及び APISAT 委員会が推薦する論文を審査する。

4. 論文は、英文オンラインジャーナル Aerospace Technology Japan の記事の分類で“論文”として刊行される。論文の採択は以下に示す評価基準に基づいて行われる。

・ JSASS が刊行する論文集として適切な水準に達していること

5. 投稿論文の第 1 著者は必ずしも JSASS 会員である必要はない。ただし、非会員の場合には通常会員 (正会員) の年会費相当額を 11 項の投稿料の額に上乗せして支払うものとする。この追加料金を支払った第 1 著者は、論文刊行後 1 年間にわたって JSASS 刊行のオンラインジャーナルを閲覧できる権利が JSASS によって与えられる。

6. 原稿は、英文オンラインジャーナル Aerospace Technology Japan の掲載用指定様式 (JASS ホームページ <http://www.jsass.or.jp> からダウンロード可能) に従って作成され、著者により PDF ファイルへ変換されるものとする。PDF ファイルの解像度は 600 dpi を推奨、ファイルサイズは原則 5MByte を上限とし、シンボル、スペース等のフォント埋込みは、すべて著者責任にて行うこと (日本語フォントを使用しないこと)。掲載が決定した後、著者は、オンライン公開用論文 PDF ファイルと論文テキストデータを、編集部指定の方法にて作成することを求められる。

7. 原稿は、郵送や電子メールではなく、インターネット上の電子投稿ページ (<http://www.jsass.or.jp>) を経由して受け付けることを原則とする。投稿に際しては、上記の電子投稿ページに記載された手順に従って、当該原稿に関する著者情報と英文抄録を入力し、原稿を PDF 形式の電子ファイル

としてアップロードすること。

8. 原稿受付年月日は原稿が電子投稿ページで受け付けられた日とする。APISAT-2016 前刷り論文として投稿されただけでは、APISAT-2016 特集号掲載論文への投稿とはみなされない。
9. 図表を含めた論文の制限ページ数は 10 ページとする。原稿ファイルサイズ容量の制限を超えない限り、カラーの図、表ならびに写真を掲載することが可能である。ただし動画やいかなる種類のソフトウェアを PDF ファイルに埋め込むことは認めない。
10. 採択された論文は、Aerospace Technology Japan 本誌と同じくオンラインジャーナルとして電子的に科学技術振興機構殿による「科学技術情報発信・流通総合システム」(略称 J-STAGE) により掲載される (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/tastj>)。別刷りは作成されない。摘要 (Abstract) は無条件で公開されるが、刊行から 5 年以内の本文の閲覧やダウンロードは会員のみ可能である。これらには、論文に関連する成果を記録した、電子的なファイル (電子付録: カラーグラフィックスやアニメーション、ソフトウェアなど) を、有料で添付することができる。電子付録の内容は、論文本文の掲載の採否には無関係であるが、論文編集委員会にて適切性を判断するものとする。
11. 論文が採択された著者は掲載料 (7,500 円×ページ数)を支払うものとする。別刷は製作されない。頁あたりの記載は、英語換算で 1200 語 (words) 程度に相当。ただし、題名、著者名に 1/4-1/5 頁程度を要する。電子付録は、1 論文あたり 5 ファイルまでとする。1 ファイルあたり 5MB 以内、全ファイルで 10MB 以内とする。受付可能なファイル形式は別途"Information for Contributors"において指定する。
12. APISAT-2016 特集号に掲載された論文の著作権は日本航空宇宙学会に帰属する。記事内容及び日本航空宇宙学会への著作権委譲についての一切の責任は著者にある。
 - (1) 著作者自身が自分の論文等の全文または一部を複製、翻訳、翻案などの形で利用する場合、これに対して本会では原則的に異議申し立てをするなど妨げることはしない。
 - (2) 第三者から論文等の複製あるいは転載に関する許諾の要請があり、本会において必要と認めた場合は許諾することがある。
13. 本投稿規定に定められていない事項については、"Guideline for Contributing to Aerospace Technology Japan"に従うものとする。

以上